

# 「JA自己改革」広報誌連載企画 第3号（2月広報誌）原稿 テーマ「現場の意識改革」

## JA自己改革の完遂に向けて！

今、JA自己改革により、私たちは変わろうとしています。皆さんは、それを実感していただいているでしょうか。

政府の掲げる農協改革は、平成31年5月までをその**集中推進期間**として進められています。JAグループが進めているJA自己改革においても、特にこれからの1年間は、危機感を持ち、しっかりと取り組むべき**正念場**です。

JA自己改革の完遂に向け、JAの主役である組合員の皆さんの「声」を、私たち役職員がしっかりと聴き、実践につなげていきます。

そのためには、皆さんとの接点である**現場が変わる（元気になる、盛り上がる）**ことが重要だと考えています。

## 現場の意識改革と取り組み状況

「JAの現場は少しずつ変わってきたな」と実感いただくために、私たち役職員一人ひとりが、改革の**当事者意識**を持って日々の業務に努めるよう、**意識改革**に取り組んでいます。

今後、さらなるJA自己改革の実践につなげるためにも、窓口や会合など対話の場を通じて、ご意見やアドバイス（「こんなJAだったらいいな」など）をどしどしお寄せください。

JAグループは、皆さんとともにJA自己改革に取り組み、3本の柱（農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化）の実現につなげていきます。

### <意識改革に向けた取り組み状況>

- 「伝えるJA自己改革研修会」の開催
- 「職場内ミーティング」での話し合い
- 「JA自己改革実践中バッジ」の着用
- 横断幕、懸垂幕の設置
- ポスター作成 等



※このバッジが目印です。

◎各JAの取り組み状況を記載して下さい。